

第2学年 国語科シラバス

単元名	教材名	学習の目あて	主な学習活動(評価の観点)	
前期	一 言葉の輝き	季節をうたう	<ul style="list-style-type: none"> 春をとらえた言葉の魅力にふれ、季節感を豊かにする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 詩の表現のおもしろさをとらえ、読み味わう。 2 言葉の調子や文章の特徴について考える。
	わたしの出会い	<ul style="list-style-type: none"> 聞きやすくわかりやすい話の構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの出会いの中から、印象に残ったものを紹介するスピーチを行う。 	
	卵	<ul style="list-style-type: none"> 人物相互の心の交流をとらえ、人と人との関係の成立について考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 登場人物の行動や心情の表現に注意して、作品の展開を理解する。 2 いろいろな観点から読みとったことを発表し合う。 3 卵に対する「少年」の思いを「紺野先生」あての手紙に書く。 	
	近代の短歌	<ul style="list-style-type: none"> 短歌にこめられた詩情を味わい、自らの感性をみがく。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 それぞれの短歌を声に出して読み、情景や作者の思いをとらえる。 2 一首を選び、鑑賞文を書く。 3 短歌の言葉の意味や語感をとらえ、読み味わう。 	
	心を伝える	<ul style="list-style-type: none"> 自分の立場や考えを明確にして、文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 短い文章で思いを伝える手紙を書いたり、相手を自由に選んで手紙を書いたりする。 	
	言葉のきまり1	<ul style="list-style-type: none"> 活用のある自立語について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 会話文を読み、活用のある自立語を類別する。 	
	漢字の広場1	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の成り立ち(六書)についての理解を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 本文を読み、漢字の成り立ちについて理解する。 2 [練習]を学習し、漢字についての理解を深める。 	
二	社会を考える	古くて新しい路面電車	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車の再評価の提起を受け止め、社会の新しいあり方に目を向ける。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 文章の展開にそくして内容をノートに整理しながら、路面電車の有効な点と課題を読み取る。 2 路面電車に対する筆者の考えについて、自分の感想や意見を発表し合う。
	人に優しい町づくり「車イスから見た町」	<ul style="list-style-type: none"> 車イスの視点からの町づくりの提起を受け止め、多様な視点の大切さを理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 話の構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりする。 2 相手の立場や考えを受け止め、話し合いが効果的に展開するように話したり聞き取ったりして、自分の考えを深める。 3 広く情報を求め、自分のものの見方や考え方を広げる文章を書く。 4 目的をもって文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てる。 	
	言葉の研究室1 方言と共通語【言葉のコラム】	<ul style="list-style-type: none"> 方言と共通語の果たす役割などについての理解を深める。 慣用句の意味や用法についての理解を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 本文を読んで、方言と共通語について理解する。 2 [課題]に取り組み、自分たちの言語生活についての考えを深める。 3 慣用句について知り、[課題]を考える。 	
	漢字の広場2	<ul style="list-style-type: none"> 同音の漢字についての理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文を読み、同音異字や同音異義語について理解する。 	
	硬筆	<ul style="list-style-type: none"> 字形、文字の大きさ、配列・配置等に配慮し、調和よく書く。 		
[読書室] 秘密 ～想像の世界へ～			<ul style="list-style-type: none"> 表現の仕方や文章の特徴に注意して読む。 	
三期	人間として生きる	少年の日	<ul style="list-style-type: none"> 文語詩のみずみずしい詩情を味わい言語感覚を豊かにする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 表現の特徴に注意して読み味わい、詩情をとらえる。 2 詩のリズムを生かして朗読する。
	夏の葬列	<ul style="list-style-type: none"> しいられた状況の中に生きる人物をとらえ、人間としての生き方を考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 作品の展開と表現の特色に注意して読み、主人公の心の動きをとらえる。 2 主人公がこれからどのように生きていくか、読み取ったことをもとに物語の続きを書く。 	
	報告を正確に～題材を選んで～	<ul style="list-style-type: none"> 文章の形態に応じた構成や表現の工夫をして書く。 根拠を明らかにし、説得力ある文章を書く。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 例にあげられた報告文の中から5W1Hにあたる事柄を考える。 2 自身が経験したことについての報告文を書くための準備として、適切な題材を選ぶ。 3 実際に報告文を書いてみる。 	
	言葉のきまり2	<ul style="list-style-type: none"> 活用のない付属語について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 会話文を読み、活用のない付属語を類別する。 	
	漢字の広場3	<ul style="list-style-type: none"> 同訓の漢字についての理解を 	<ul style="list-style-type: none"> 本文を読み、同訓異字について理解する。 	

後 期	四	敦盛の最期 ～平家物語～	深める。 ・昔の物語に親しみ、武士の生き方について考える。	1 冒頭の文章を歴史的仮名遣いに注意して音読する。 2 物語の内容をノートにまとめ、あらすじをとらえる。	
		古典に親しむ 古人の心 ～枕草子・徒然草～	・昔の随筆に親しみ、ものの見方や考え方を豊かにする。 ・古文の表現に慣れ、筆者のものの見方や考え方を知る。	1 清少納言や兼好法師が自然や人間をどのようにとらえているか、読み取ったことをノートにまとめ古人のものの見方をとらえる。 2 現代に生きる自分たちと比べ考えたことを発表し合う。 3 「春はあけぼの」を参考に、自分の季節感を短い文章にまとめる。	
		孔子の言葉 ～論語～	・孔子の言葉に親しみ現代にも通じる人間のあり方を考える。 ・漢文の表現に慣れ、古人のものの見方や考え方を探る。	1 書き下し文をくり返し音読し漢文独特の調子を味わう。 2 孔子の言葉について考えたり思ったりしたことを話し合い、現代の自分たちに通じるところを考える。 3 孔子の言葉のうち、気に入ったものを暗唱する。	
		言葉の研究室 2	・類義語や対義語についての理解を深める。	・本文を読んで、類義語や対義語の性質やはたらきについて理解する。	
	五	命との対話	ガイアの知性	・鯨や象の知性をとらえ、それを人間に対する警句として受け止める。	1 文章の論理的な展開をとらえ、筆者のものの見方や考え方を読み取る。 2 人間と鯨や象のそれぞれの「知性」をとらえ、筆者の考える「真の『ガイアの知性』」について考える。 3 筆者の考えに対する自分の考えを文章にまとめる。
			学級新聞を考える	・ディベートの仕方を学ぶ。	・広い範囲から材料を集め、話したり聞き取ったりする。 ・話の論理的な構成や展開を考えながら話したり聞き取ったりする。 ・相手の立場や考えを尊重して話したり聞き取ったりする。
		言葉のきまり 3	・活用のある付属語について理解する。	・会話文を読み、活用のある付属語を類別する。	
		漢字の広場 4	・漢字の呉音・漢音・唐音についての理解を深める。	1 本文を読み、漢字の字音の種類について理解する。 2 [練習]を学習し、漢字の歴史についての理解を深める。	
		毛筆	・漢字の楷書や行書とそれらに調和した仮名の書き方を理解して書くとともに、読みやすく書くこと。		
	[読書室] 「わたし」のことを知っていますか～自分と自分～			・人間について考え、自分の考えをもつ。 ・読書の楽しさを知り、より多くの本にふれようとする態度を養う。	
六 成長	学ぶことは 生きること	・論理を明確にして見方や考え方を深める。	1 広い範囲から課題を見つけ、必要な情報を集めて文章を書く。 2 自分の立場や考えを明確にして文章を書く。 3 構成や表現を工夫して文章を書く。 4 書いた文章を読み合い、優れたところを自分の表現の参考にする。		
		弥生の絵	・弥生の絵の不思議を知り、発想を豊かにする。	1 目的をもって情報を読み取り、自分の考えを深める。 2 それぞれの「絵」を見て自分が感じたことや考えたことをわかりやすい論理的な文章にまとめる。	
	走れメロス	・人物の行動の特徴をとらえ、そこにみられる課題を探究する。	1 表現の仕方や語り手の視点に注意して主題をとらえる。 2 文体の特徴について考える。 3 グループごとに好きな場面を選んで朗読劇を作る。		
	虹の足	・「僕」の発見した情景をとらえ、人間の暮らしを見つめ直す。	1 詩を音読し、印象に残った表現を発表する。 2 詩の展開に注意して、作者の思いをとらえる。		
	言葉のきまり 4	・文の組み立てや文の成分の順序について理解する。	1 会話文を読み、文の組み立てや文の成分の順序について考える。 2 巻末の本文を読み、文の構造について理解を確かなものにする。		
	自分だけの「一冊」を見つけよう～言葉と心～	・自分にとっての「かけがえない一冊」を見つける。	・自分の読書体験について発表し合う。 ・さまざまな事象を文字で表現した作品を書く。 ・それぞれの文章の表現の特徴を読み取る。		

・ ・ の教材は、それぞれ選択したり統合したりして学習します。